

天然下種による更新が実用化できれば、*A. mangium* の造林に新しい光を当てる非常に有用な技術開発になる。また、この天然更新施業技術はひとり *A. mangium* のみならず、*A. auriculiformis* 等の近縁の造林樹種にも適用できる可能性もある。

サバ州造林技術開発訓練計画では、今後ともこの課題に取り組んでいくこととしており、読者諸兄の御意見、御指導をいただければ幸いである。

〔参考文献〕 1) HU, T.W., CHENG, W.E. & SHEN, T.A. (1983): Growth of the seedlings of four leguminous tree species in relation to soil pH in a pot set. Nitrogen Fixing Tree Research Reports, No. 1, 24-25. 2) TURNBULL, John W. (1986): Multipurpose Australian trees and shrubs. Lesser-known species for fuelwood and agroforestry, ACIAR Monograph No. 1, 316 pp. 3) JONES, N. (1983): Fast-growing leguminous trees in Sabah. *Leucaena* Workshop, Singapore, 23-26 Nov. 1982, Working Paper, 23 pp. 4) LOGAN, A.F. & BALODIS, V. (1982): Pulping and papermaking characteristics of plantation grown *Acacia mangium* from Sabah. 5) National Research Council. (1983): *Mangium and Other Acacias for Humid Tropics*. National Academy Press, Washington D.C., 62 pp.

新刊紹介

◎サヘルの木と灌木—その特性と利用 (Maydell, H.J. von: *Trees and Shrubs of the Sahel—Their Characteristics and Uses*. Deutsche Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit GmbH, 525 pp., 1986, 邦価約 4,200 円)

最初に発行されたのは1983年なので新刊とは言えないが、サヘル地帯に生育する樹木約110種を美しいカラー写真と解説で紹介した有益な図鑑である。各樹種ごとに樹形、葉、花、果実、樹皮等を写した数枚のカラー写真と、特徴、分布、土地条件、繁殖・栽培、利用等についての1(～5)ページの詳しい解説が載せられている。掲載されている樹種は大部分が *Acacia* (16種)、*Adansonia*, *Balanites*, *Boscia*, *Butyrospermum*, *Parkia*, *Ziziphus* 等の indigenous 樹種であるが、カシュー、ニーム、タガヤサン、モクマオウ、ユーカリ、イビル・イビル、マンゴー等のサヘル地帯によく植栽される外来樹種も少数含まれている。また、巻頭・巻末には利用用途(燃材・炭材、用材、食用、飼料、薬用、原材料、土壌改善等)の表、数部族語による現地名、生育条件等の一覧表、種子の写真(約70種)、Reference 等もつけられている。人口増、過放牧、過耕作、燃材採取等による樹木の減少、降水量の減少、砂漠化が伝えられ、植林の緊急性・重要性の増しているサヘル地域の樹木についての最適な案内書である。(藤井久雄)